

問1 摂関政治の全盛期に「望月の歌」を詠み、栄華を極めた人物は誰？

1. 藤原基経 2. 藤原道長 3. 藤原良房 4. 藤原頼通

問2 794年に桓武天皇が建設し、その後長きにわたって日本の中心となった新しい都を何という？

1. 平安京 2. 平城京 3. 長岡京 4. 藤原京

問3 平安時代末期、武士として初めて任命された最高位の官職を何という？

1. 内大臣 2. 右大臣 3. 左大臣 4. 太政大臣

問4 『源氏物語』を書き、平安時代の国風文化を代表する女性作家は誰？

1. 和泉式部 2. 菅原孝標女 3. 紫式部 4. 清少納言

問5 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰？

1. 藤原良房 2. 藤原道長 3. 藤原基経 4. 藤原忠平

問6 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？

1. 最澄 2. 円仁 3. 空海 4. 円珍

問7 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？

1. 近畿地方 2. 四国地方 3. 九州地方 4. 東北地方

問8 平安京が碁盤の目状に整備される際に、手本とされた中国の都はどこ？

1. 長安 2. 平安京 3. 洛陽 4. 平城京

問9 平安時代、父・道長の別荘を寺院に改め、宇治に平等院鳳凰堂を建立した人物は誰？

1. 藤原師輔 2. 藤原頼通 3. 藤原兼家 4. 藤原道長

問10 平安時代に国風文化が発展するきっかけとなった、中国へ使者を送る制度の終了を何という？

1. 遣唐使の廃止 2. 壬申の乱 3. 大化の改新 4. 承久の乱

問11 平安時代、地方の政治が乱れる大きな原因の一つとなった制度の廃止を何という？

1. 長岡京遷都 2. 平城京遷都 3. 遣唐使廃止 4. 大化の改新

問12 平安時代中期、貴族の邸宅として発展した日本独自の建築様式を何という？

1. 天平文化 2. 室町文化 3. 鎌倉文化 4. 国風文化

問13 国司が中央政府から認められた、現地の税を集める権利を何という？

1. 裁判権 2. 徴税権 3. 軍事権 4. 外交権

問14 平安時代初期に最澄が天台宗の総本山として延暦寺を建立した場所はどこ？

1. 東大寺 2. 清水寺 3. 高野山 4. 比叡山

問15 国風文化のなかで、漢字を簡略化して作られた文字を何という？

1. 仮名文字 2. 漢字 3. 梵字 4. カタカナ

問16 平安時代中期、天皇が幼いときに補佐する役職を何という？

1. 関白 2. 征夷大將軍 3. 摂政 4. 太政大臣

答え合わせ・解説

問1	答え 2 藤原道長	藤原道長はその摂関政治の頂点に立った人物です。娘の彰子を一条天皇の中宮にするなど、一族の女性を権力の中枢に送り込みました。「この世をば…」で始まる望月の歌は、彼が自身の権力の絶頂期を月になぞらえて詠んだものとして非常に有名です。
問2	答え 1 平安京	平安京は、現在の京都盆地に造営されました。中国の長安にならって整然と区画整理された都市であり、中央には天皇の住む御所、その南には広大なメインストリートである朱雀大路が通っていました。遷都は794年に行われ、以後明治維新まで長きにわたって日本の政治・文化の中心地となりました。
問3	答え 4 太政大臣	1167年に平清盛がこの地位に就きました。武士が朝廷の最高職に就くことは当時としては異例のことであり、平氏一族が貴族社会の中枢に深く入り込んだことを示しています。
問4	答え 3 紫式部	紫式部は、藤原道長の娘に仕えながら、『源氏物語』を執筆しました。この物語は、主人公である光源氏の栄華と没落を通して、人間の心理や当時の貴族社会を克明に描き出しました。
問5	答え 2 藤原道長	藤原道長は、四人の娘を次々と天皇の後とすることで、揺るぎない地位を築きました。自身が摂政や関白になることもありましたが、それ以上に天皇の外戚という立場で朝廷を掌握しました。彼が詠んだ歌は、自身の権勢が満月のように欠けるところがないと誇る自信に満ちたものです。
問6	答え 3 空海	空海は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。密教とは、高度な修行と儀式を重ねる仏教の宗派です。彼は嵯峨天皇から高野山を下賜され、そこに金剛峯寺を建立して修行の拠点としました。多くの弟子を育て、学問の面でも大きな足跡を残しました。
問7	答え 4 東北地方	東北地方には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとしていました。朝廷は多賀城などの拠点を作り、軍事的に征討を試みましたが。
問8	答え 1 長安	平安京は、唐の首都である長安の都市計画をモデルにして建設されました。道路が東西・南北に整然と交差する「条坊制」を採用し、北端中央に天皇の住まいである内裏を置く構造となっています。当時の高度な都市開発技術が結集された、日本を代表する計画都市です。
問9	答え 2 藤原頼通	藤原頼通は、権力の絶頂期にあった藤原道長の息子です。1052年、彼は父から譲り受けた京都・宇治の別荘を寺院へ改め、平等院を建立しました。これは、当時の貴族たちが願った極楽浄土の姿を現世に再現しようとする試みでした。
問10	答え 1 遣唐使の廃止	遣唐使の廃止は、中国の文化に直接頼る時代から脱却する転換点となりました。これにより、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が重視されるようになりました。
問11	答え 3 遣唐使廃止	894年の遣唐使廃止によって日本は中国との公的な外交関係を絶ちました。これにより、中央政府の関心は外交から国内統治へと向かいましたが、地方へ派遣された国司たちが現地に赴かず、京に留まって私腹を肥やすといった政治の腐敗が目立つようになりました。
問12	答え 4 国風文化	国風文化は、仮名文字の普及による文学の発展や、独自の美的感覚を反映した建築、絵画（大和絵）などが特徴です。日本人の心情や感性を豊かに表現したこの文化は、当時の貴族社会のあり方を象徴するものとなりました。
問13	答え 2 徴税権	10世紀頃、朝廷は国司に一定額の税収を保証させる代わりに、徴税権や地方の行政権を大幅に委譲しました。これにより国司は現地の経済を支配し、大きな利益を得られるようになりました。
問14	答え 4 比叡山	比叡山は平安京（京都）の鬼門の方角にあり、都の守護を担うという意味も持っていました。ここに開かれた延暦寺には多くの僧侶が集まり、仏教の研鑽を積む拠点となりました。
問15	答え 1 仮名文字	仮名文字は、漢字の形をくずしたり、その一部を抜き出したりして作られた文字です。これにより、貴族たちは自分の感情を素直に表現できるようになり、和歌や物語の創作が盛んになりました。国風文化の発展を支えた最大の要因といえます。
問16	答え 3 摂政	摂政は天皇が幼少の際に代理として政治を行う役職であり、成人後は関白として補佐しました。藤原氏は一族から天皇の後を出すことでこの地位を世襲し、朝廷の政治を思いのままに動かしました。